

公開  
シンポジウム

# 海がつなぐ、 中世港湾都市の世界

～博多、神戸、寧波～

福岡は古来、中国大陸・朝鮮半島と日本列島をむすぶ交通の要衝であり、  
日本のみならず海外との密接な交流のなかで育まれました。

とりわけ、中世の博多は日本で最初のチャイナタウンが形成されるなど最大規模の港湾都市として繁栄を誇りました。

今回のシンポジウムでは、「海域史」と呼ばれる近年の学際的研究の成果を踏まえながら、

博多と東アジア地域との交流の実態を追うとともに、

同時代の神戸、中国・寧波との比較を通して、

港湾都市としての中世博多の特徴を浮き彫りにしたいと思います。

## 趣旨説明

山根 直生氏

福岡大学人文学部准教授、福岡・東アジア・地域共生研究所

## 講演.1

「中国中世港湾都市、明州(寧波)の人々とその暮らし」

山崎 覚士氏

佛敎大学歴史学部准教授—中国史

## 講演.2

「日宋貿易と大輪田泊」

山内 晋次氏

神戸女子大学文学部教授—日本史

## 講演.3

「中世博多チャイナタウンをめぐる考古学  
—宋元海商の経済・宗教活動とその文物—」

桃崎 祐輔氏

福岡大学人文学部教授—考古学

## 総合討論

開催  
日時

2015年3月1日(日)  
13:30～16:00(開場13:00)

## 会場

福岡大学 中央図書館1階

多目的ホール

(福岡市城南区七隈8丁目19-1)

※福岡市地下鉄七隈線

「福大前駅」下車、徒歩5分)



参加 無料・事前申込不要

対象 テーマに関心のあるすべての方

主催 福岡大学  
福岡・東アジア・地域共生研究所

お問合せ先

福岡大学 福岡・東アジア・地域共生研究所 (担当:山田)

TEL.092-871-6631(代) 内線4046 ※平日9時00分～16時50分

Eメール yuzo@adm.fukuoka-u.ac.jp